

# 学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力頂き、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果は例年通りグラフ化しました。今年は過去 5 年間の結果を平均したグラフも作成し、質問ごとに、今年、去年、過去の平均の児童・生徒・学生、保護者・保証人、教職員の間にあるギャップを分かりやすく表示して、本校の学校運営や教育活動が児童・生徒・学生、保護者・保証人の皆様のニーズに対応しているかどうかなど、比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長・准校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思っております。

## 1 アンケートの方法

「保護者・保証人用」、「児童・生徒・学生用」（小学部児童用、中学部生徒用、高等部生徒用、専修部学生用）、「教職員用」という質問用紙を、平成 29 年 10 月に配付して実施しました。回収率は、教職員が 77%、保護者・保証人が 91%、児童・生徒・学生が 85% でした。（前回、教職員 78%、保護者・保証人 82%、児童・生徒・学生 88%）

## 2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の 3 段階で回答しました
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の 5 段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。
- iv) 質問によっては A、B、C、D、E の 5 つに区分して表示したものもあります。

### 3 アンケート結果の考察と課題

\*グラフの見方(下から)

A+B 肯定的評価、

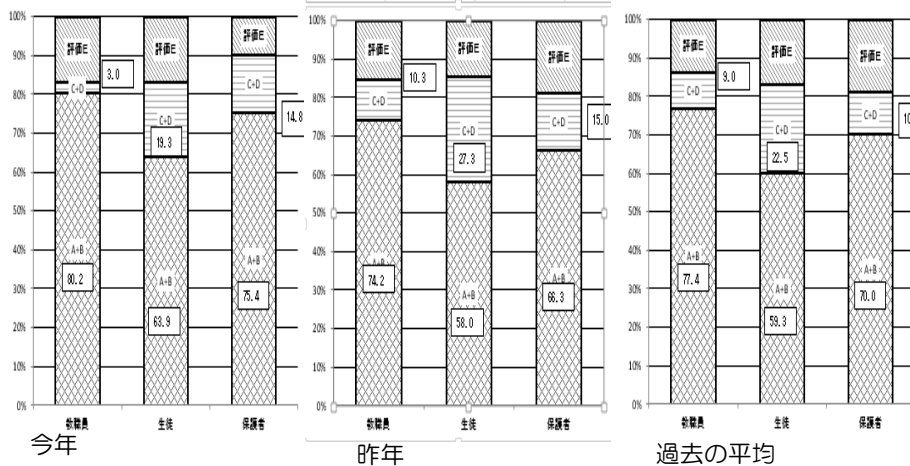
C+D 否定的評価、

評価E わからない

ID・カテゴリーと質問内容 学校全体の集計グラフ	今回、過去のデータ等と比較した 分析結果																																								
<p><b>1 学校</b> 学校に行くのが楽しいかどうか。</p>  <table border="1"> <caption>学校に行くのが楽しいかどうかの集計結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>今年 (A+B)</th> <th>今年 (C+D)</th> <th>今年 (E)</th> <th>昨年 (A+B)</th> <th>昨年 (C+D)</th> <th>昨年 (E)</th> <th>過去の平均 (A+B)</th> <th>過去の平均 (C+D)</th> <th>過去の平均 (E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>85.3</td> <td>14.7</td> <td>0.0</td> <td>77.3</td> <td>22.7</td> <td>0.0</td> <td>88.6</td> <td>11.4</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>68.9</td> <td>31.1</td> <td>0.0</td> <td>77.3</td> <td>22.7</td> <td>0.0</td> <td>88.6</td> <td>11.4</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85.3</td> <td>14.7</td> <td>0.0</td> <td>85.9</td> <td>14.1</td> <td>0.0</td> <td>88.2</td> <td>11.8</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (E)	教職員	85.3	14.7	0.0	77.3	22.7	0.0	88.6	11.4	0.0	生徒	68.9	31.1	0.0	77.3	22.7	0.0	88.6	11.4	0.0	保護者	85.3	14.7	0.0	85.9	14.1	0.0	88.2	11.8	0.0	<p>【全校】生徒の肯定的評価が昨年 から7%、過去の平均からは10% 減り、否定的評価がともに7%ほ ど増えています。 保護者の肯定的評価はすべて 85%以上あり高い評価を維持し ています。 【学部ごと】生徒の肯定的評価は 幼小学部が100%、高等部は昨年 から5%増えています。しかし、 中学部は20%減り、専修部も 15%減りました。過去の平均と比 較しても専修部は15%減ってい ます。</p>
対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (E)																																
教職員	85.3	14.7	0.0	77.3	22.7	0.0	88.6	11.4	0.0																																
生徒	68.9	31.1	0.0	77.3	22.7	0.0	88.6	11.4	0.0																																
保護者	85.3	14.7	0.0	85.9	14.1	0.0	88.2	11.8	0.0																																
<p>【課題・反省等】学校全体として楽しく学べる環境を整えたいと思います。</p>																																									
<p><b>2 保護者との連携</b> 学校による情報の周知徹底</p>  <table border="1"> <caption>学校による情報の周知徹底の集計結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>今年 (A+B)</th> <th>今年 (C+D)</th> <th>今年 (E)</th> <th>昨年 (A+B)</th> <th>昨年 (C+D)</th> <th>昨年 (E)</th> <th>過去の平均 (A+B)</th> <th>過去の平均 (C+D)</th> <th>過去の平均 (E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>84.2</td> <td>15.8</td> <td>0.0</td> <td>83.5</td> <td>16.5</td> <td>0.0</td> <td>83.5</td> <td>16.5</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>82.5</td> <td>17.5</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (E)	教職員	84.2	15.8	0.0	83.5	16.5	0.0	83.5	16.5	0.0	生徒	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	保護者	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	82.5	17.5	0.0	<p>【全校】教職員の肯定的評価は今 年度と昨年、過去の平均と同じ水 準で80%を超えています。保護者 の肯定的評価が過去の平均、昨年 より上がり、教職員と保護者の肯 定的評価の差はほとんどなくなり ました。 【学部ごと】専修部保護者の肯定 的評価が6%減りましたが、中学 部、高等部はそれぞれ5%、10% 上がりました。</p>
対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (E)																																
教職員	84.2	15.8	0.0	83.5	16.5	0.0	83.5	16.5	0.0																																
生徒	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0																																
保護者	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	82.5	17.5	0.0																																
<p>【課題・反省等】この結果に満足することなく、今後とも、すべての保護者に情報が行き渡るよう取組みを進めていきます。</p>																																									
<p><b>3 保護者との連携</b> 保護者の学校行事の参加</p>  <table border="1"> <caption>保護者の学校行事の参加の集計結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>今年 (A+B)</th> <th>今年 (C+D)</th> <th>今年 (E)</th> <th>昨年 (A+B)</th> <th>昨年 (C+D)</th> <th>昨年 (E)</th> <th>過去の平均 (A+B)</th> <th>過去の平均 (C+D)</th> <th>過去の平均 (E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>83.3</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (E)	教職員	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	生徒	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	保護者	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	<p>【全校】今年は学校行事等に参加 したことがある保護者が30%近 く増え、昨年と過去の平均とは違 いを見せています。 【学部ごと】幼小学部の保護者は ほぼ100%です。高等部、専修部 の保護者の参加も増えましたが、 とくに専修部の保護者の参加が 30%以上増えました。</p>
対象者	今年 (A+B)	今年 (C+D)	今年 (E)	昨年 (A+B)	昨年 (C+D)	昨年 (E)	過去の平均 (A+B)	過去の平均 (C+D)	過去の平均 (E)																																
教職員	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0																																
生徒	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0																																
保護者	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0																																
<p>【課題・反省等】学校としてはさらに、行事に参加しやすい工夫を進めていきます。</p>																																									

## 4 進路

### 一人ひとりに応じた進路指導



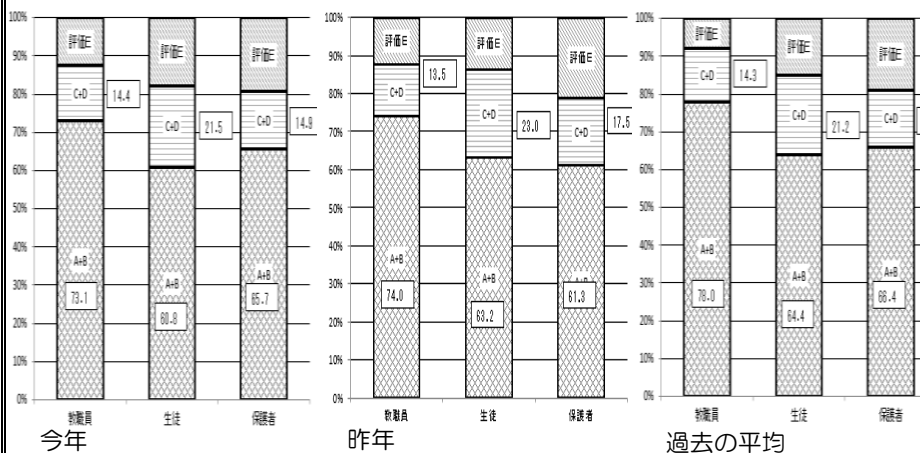
【全校】今年の結果は、昨年、過去の平均とほぼ同じ結果を示していますが、生徒、保護者の肯定的評価が昨年、過去の平均より若干増えて60%を超え、否定的評価が少し減りました。

【学部ごと】専修部学生の肯定的評価が7%増え、否定的評価が10%減りました。中学部生徒の肯定的評価も20%増えました。

【課題・反省等】教職員と生徒のギャップが約20%、保護者と10%あるので、今後も担任、分掌が連携を密にして情報提供を行うなど、きめ細かな進路指導の取り組みを行っていきます。

## 5 生徒・学生指導

### 悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無



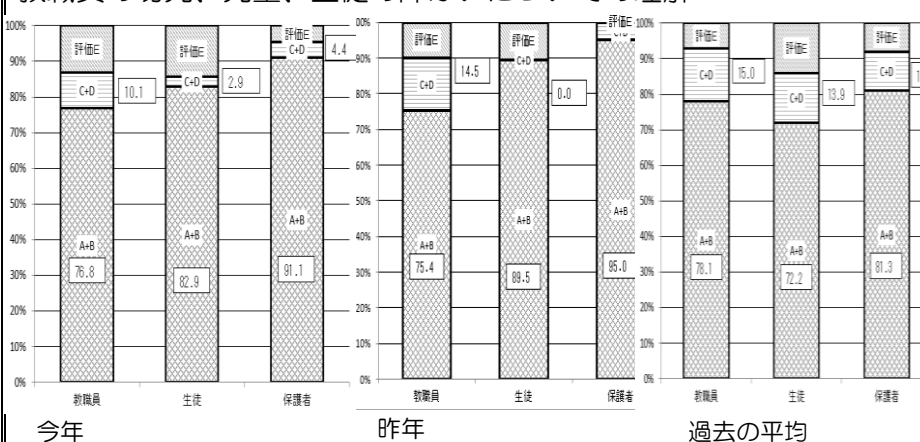
【全校】今年の結果は、昨年、過去の平均とほぼ同じ結果を示しており、生徒の肯定的評価は60%を超えています。

【学部ごと】高等部生徒、専修部学生の肯定的評価が少し増え、否定的評価が高等部は5%、専修部は10%減りました。ただ、中学部は否定的評価が20%増えました。

【課題・反省等】全体としては60%の生徒が相談できる先生がいると答えており、生徒と教職員のコミュニケーションがある程度とれていると思います。今後も気軽に相談できる雰囲気を作るとともに、校内の相談システムの周知徹底にも努めます。

## 6 児童・生徒理解 (幼小・中・高)

### 教職員の幼児、児童、生徒の障がいについての理解



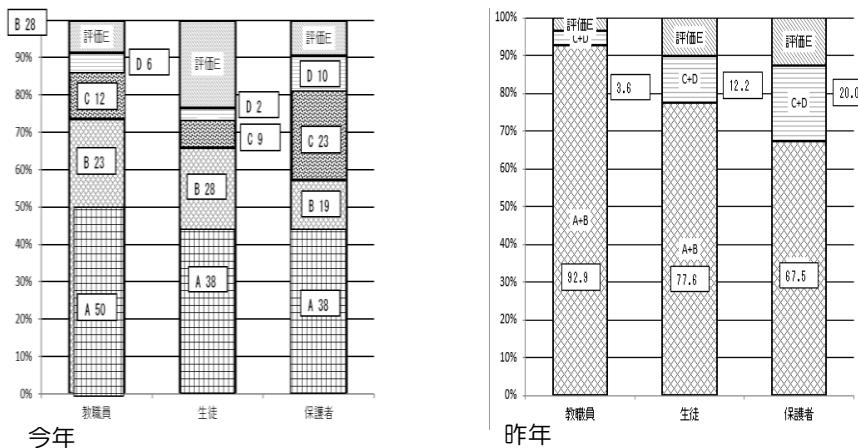
【全校】今年の結果は生徒、保護者の肯定的評価が昨年からは少し減ったものの、それぞれ80%、90%以上と高い評価を受けています。

【学部ごと】幼小小学部の生徒、保護者は100%、高等部、中学部の生徒、保護者とも「わからない」がありますが、高い評価です。

【課題・反省等】過去の平均から見ても、徐々に評価が上がってきていることがわかります。ただ、幼小小学部、高等部の教職員の否定的評価が、昨年より減ったもののそれぞれ16%、10%あるので、研修会や事例検討会などさまざまな機会を通して、一人ひとりの在校生の障がいの状況について理解を深めていくと同時に、さらに各部の連携を密にして、幼児、児童、生徒、学生の情報の共有化を図っていきます。

## 7 児童・生徒理解（専修部）

学生の障がいについて理解している教職員の割合



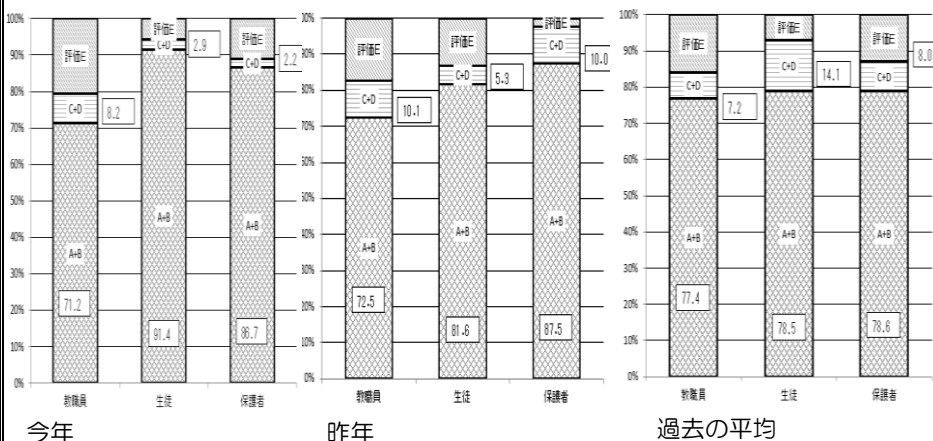
昨年から専修部単独で学生の障がいを理解している教職員の割合を聞く質問に変更しています。

- A：とても多い（75%以上）
- B：半分以上はいる（50%以上～75%未満）
- C：半分以下である（25%以上～50%未満）
- D：とても少ない（25%未満）
- E：わからない

【課題・反省等】この質問はAの評価をいかに増やしていくかが課題となりますが、今年と昨年のAの評価を比較すると教職員 50%で今年と同じ、学生 37%で今年と同じ、保護者 45%で7%減っており、昨年からあまり進展が見られず、教職員と学生の間には少しギャップがあります。今後、研修会や日々の取り組みを通して学生一人ひとりの障がいについて理解を深め、それをそれぞれが実感できるように、情報や支援の方法について共有化を図っていきます。

## 8 授業（幼小・中・高）

わかりやすい授業の実施



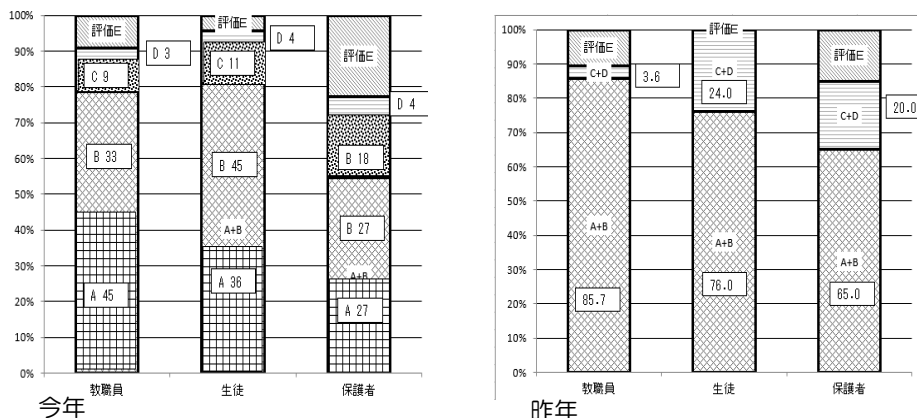
【全校】今年の結果は昨年と比較すると、肯定的評価が教職員、保護者はほぼ変わらないものの、生徒は10%増えています。過去の平均と比較しても生徒、保護者とも増えています。

【学部ごと】幼小学部、中学部、高等部生徒、保護者の肯定的評価は「わからない」を除けばほぼ100%です。過去の平均と比較しても否定的評価が減り、肯定的評価が増えています。

【課題・反省等】この結果に満足することなく、今後とも学習会や研修など様々な機会を通して、教職員のスキルアップを図っていきます。

## 9 授業（専修部）

授業内容を工夫し、わかりやすい授業に努めている教職員の割合



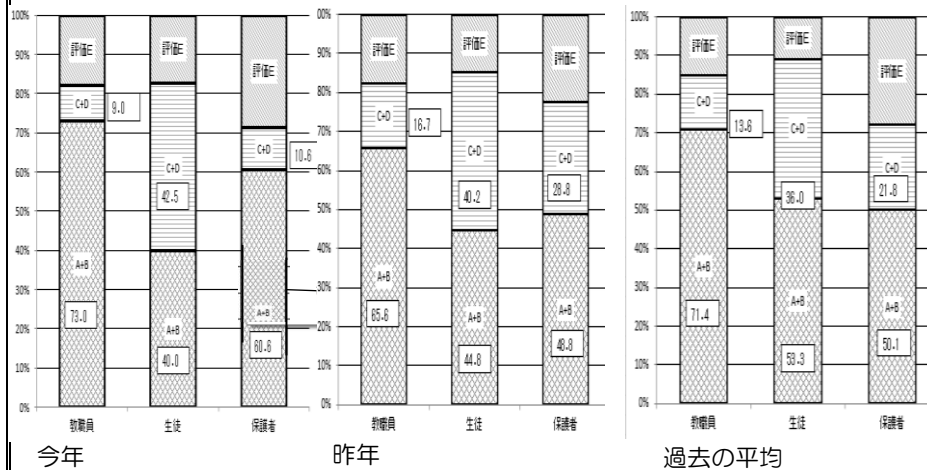
昨年から専修部単独で授業内容を工夫し、わかりやすい授業に努めている教職員の割合を聞く質問に変更しています。

- A：とても多い（75%以上）
- B：半分以上はいる（50%以上～75%未満）
- C：半分以下である（25%以上～50%未満）
- D：とても少ない（25%未満）
- E：わからない

【課題・反省等】この質問もAの評価をいかに増やしていくかが課題となりますが、今年と昨年のAの評価と比較すると教職員 42%で3%減、学生 32%で4%増、保護者 32%で5%減と、昨年から進展が見られず、教職員と学生の間にはギャップがあります。Aの評価を増やすことができるよう今後とも学習会や研修など様々な機会を通して、教職員の授業力向上に努めてまいります。

## 10 授業

### ICTを活用した教育の取り組み



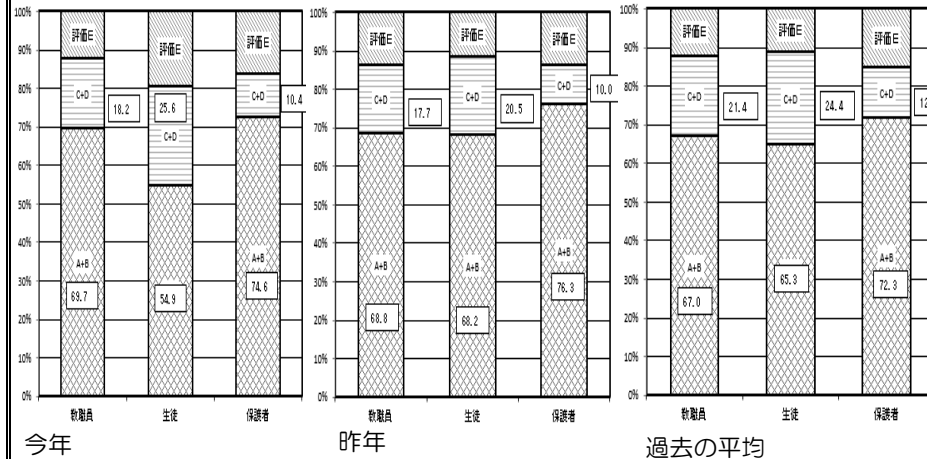
【全校】昨年と比較すると教職員、保護者の肯定的評価が増えましたが、生徒の肯定的評価が少し減り、否定的評価が少し増えました。過去の平均と比較しても、肯定的評価が減っています。

【学部ごと】高等部生徒は「わからない」を除くと肯定的評価はほぼ100%です。中学部生徒に30%の否定的評価があり、専修部学生の肯定的評価は23%、否定的評価が62%で、昨年と比較すると肯定的評価は10%減り、否定的評価が5%増えています。

【課題・反省等】高等部ではタブレットPCなどICT機器を授業に取り入れる取組みが定着しています。専修部は学科の特性上、教科書の電子化などが難しい面もありますが、教職員の研修や機器の整備を行い、ICTを視覚障がい教育に活用できるようにしていきます。

## 11 人権

### 幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進



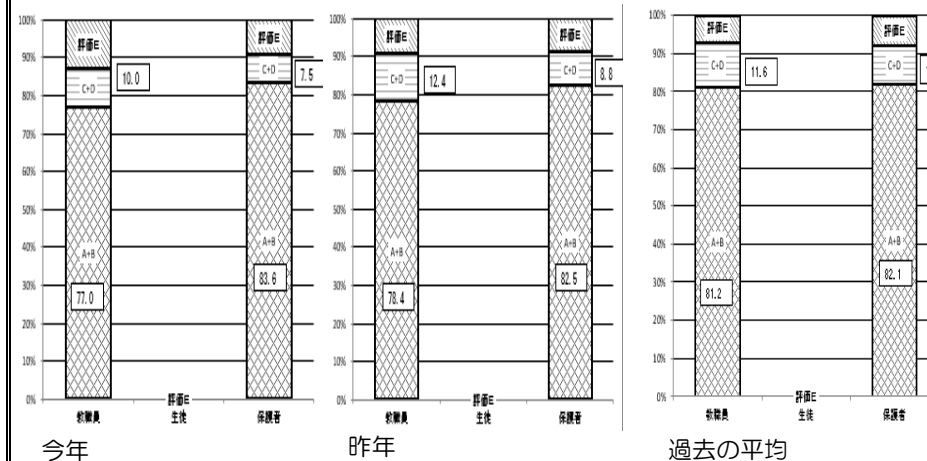
【全校】昨年と比較すると教職員、保護者は昨年とほぼ同じ結果ですが、生徒の肯定的評価が13%減り、否定的評価が5%増えました。

【学部ごと】昨年と比較すると専修部学生の肯定的評価が26%減って38%となり、否定的評価も5%増えています。高等部生徒の肯定的評価も20%減り、否定的評価が10%増えました。

【課題・反省等】各部で人権について考える機会を設け、職員についても全校、各部で参加体験型の研修会を行っています。今後ともこうした取組みを充実させていきます。

## 12 人権

### 日常の教育活動における幼児、児童、生徒の人権の尊重



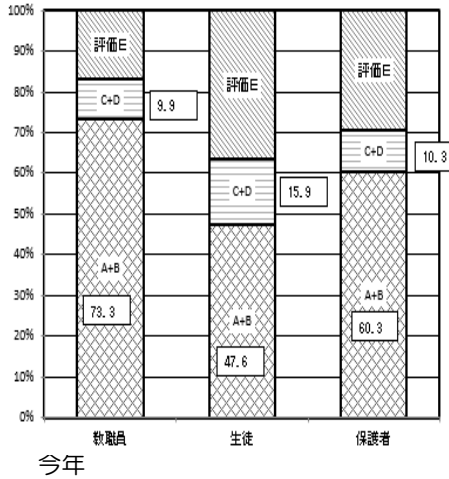
【全校】昨年と同様、肯定的評価が教職員、保護者とも80%ほどあります。過去の平均と比較しても同様の結果が出ています。

【学部ごと】教職員の否定的評価が、幼小学部が11%、中学部17%、高等部15%、専修部10%あります。

【課題・反省等】教職員、保護者とも約80%が、人権が尊重された教育活動が行われていると評価しています。しかし、各学部とも否定的評価がなくなったわけではありません。こうした評価がさらになくできるよう、研修を充実させ、安全・安心に配慮された学校づくりをすすめていきます。

### 13 人権

いじめなどの行為に対して適切に対応しているか



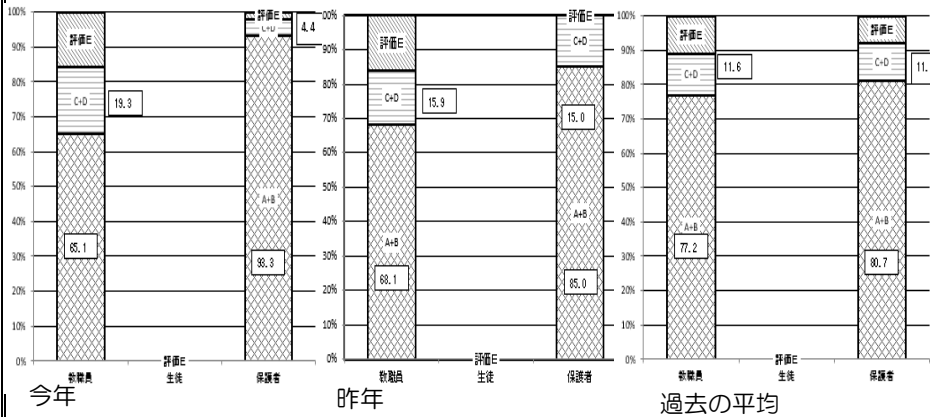
【全校】今回、新たに追加された質問です。教職員にはいじめなどの行為があれば適切に対応できているか、生徒、保護者には適切に対応してくれるかを質問しました。生徒、保護者の肯定的評価はそれぞれ48%、60%、否定的評価は16%、10%、わからないが38%、29%でした。

【学部ごと】いずれの学部の生徒、保護者もわからないが多かったものの、専修部を除くと否定的評価は少なかったです。専修部は学生、保護者にそれぞれ23%、22%の否定的評価がありました。

【課題・反省等】教職員と生徒、保護者の肯定的評価にギャップがあるので、それを縮めることができるよう日々取り組んでいく必要があると感じます。

### 14 教育課程

幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成



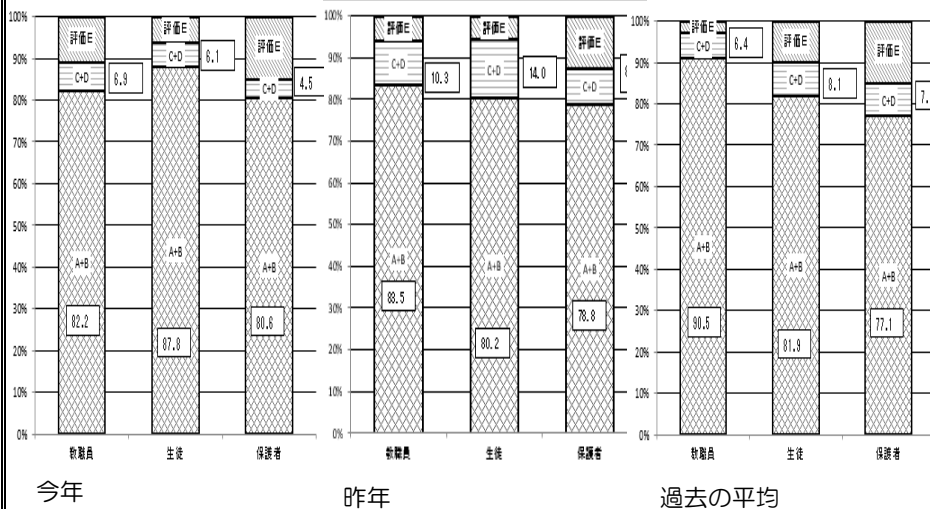
【全校】保護者の肯定的評価が過去の平均、昨年も80%を超えていましたが、今年は93%とより高い評価を得ています。一方、教職員の肯定的評価は少し減り、否定的評価が少し増えました。

【学部ごと】教職員の否定的評価が幼小学部は34%、中学部25%、高等部10%あります。

【課題・反省等】毎年、幼児、児童、生徒の実態が変わる中、各部とも日頃の教育活動について意見を出し合い、できるかぎり、幼児、児童、生徒の一人ひとりの障がいの実態に配慮し教育課程を検討していきます。

### 15 学校安全

地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか



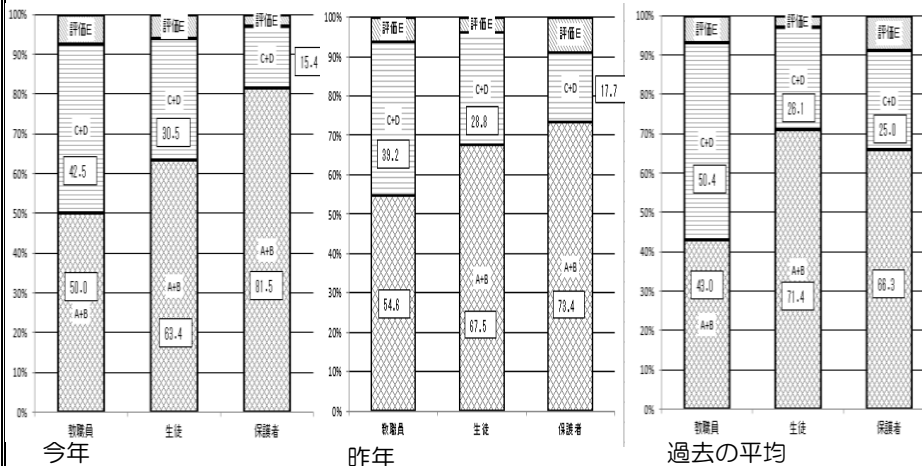
【全校】昨年、過去の平均と比較すると、生徒の肯定的評価が増え、否定的評価が減りました。教職員、生徒、保護者とも肯定的評価は80%を超え、高い評価を得ています。

【学部ごと】小学部、中学部、高等部の生徒の肯定的評価は高いです。専修部の学生の肯定的評価が昨年と比較すると13%増えて83%となり、否定的評価が13%減って11%となりました。

【課題・反省等】学校では定期的に火災、地震、不審者に対する避難訓練を実施しており、実際の緊急事態に対応できるよういろいろ工夫を加えて取り組んでいます。個々の訓練を検証し、実際に起きたときに教職員、生徒とも適切な行動がとれるようにしていきます。

## 16 学校安全

校舎は視覚障がい者にとって安全で使いやすいか



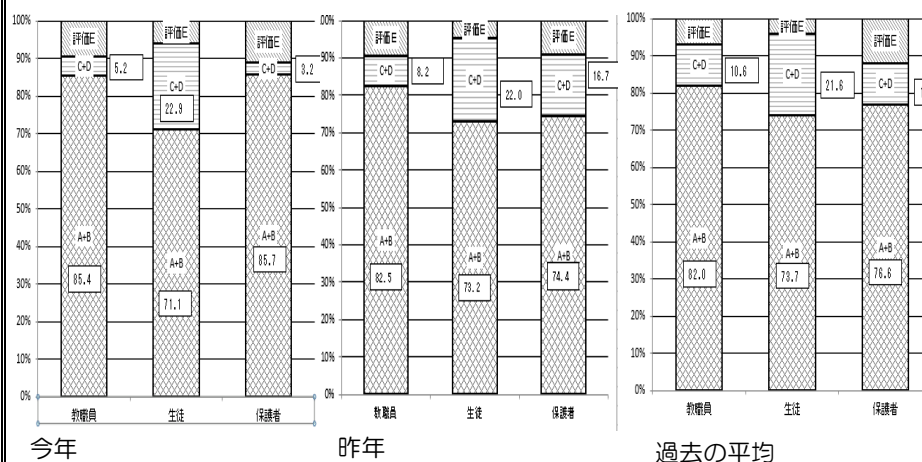
【全校】昨年と比較すると教職員、生徒、保護者ともほぼ同じ結果を示しています。過去の平均と比較すると、保護者の肯定的評価が15%増えています。

【学部ごと】教職員の否定的評価が幼小学部33%、中学部25%、高等部40%、専修部は62%あり、専修部の学生の否定的評価も43%です。

【課題・反省等】保護者の評価は高いですが、教職員が視覚障がい者の立場に立って、校舎を検証した結果、このように厳しい結果になったと思います。根本的な改良は難しいですが、生徒、保護者、教職員をはじめ本校に関わるすべての方の安全を最優先に、改善できるところは改善していきます。

## 17 学校行事

スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか  
専修部は学科の行事が有意義かどうか



【全校】昨年、過去の平均と比較すると教職員、生徒、保護者ともほぼ同じ結果を示しています。

【学部ごと】幼小学部、中学部は三者とも肯定的評価がほぼ100%です。高等部の教職員、生徒に否定的評価がそれぞれ20%、11%あります。専修部は教職員の肯定的評価は100%ですが、学生は肯定的評価が昨年から10%減って55%。否定的評価はほぼ変わらず34%と教職員との間にギャップがあります。

【課題・反省等】スポーツフェスティバルや文化祭をはじめとする学校行事で、これからも生徒が主体的に取り組み、一人一人が充実感を持てるような行事を企画、運営したいと思います。専修部についてもさらに、学生の意見、感想を各学科の行事や自主的に参加しているスポフェスや文化祭の企画、運営に活かしていきます。

## 4 おわりに

今回の学校教育自己診断で明らかになった個々の課題については、次年度以降も各学部、各分掌で改善に向けた取組みを続けてまいります。